

---

---

# 研究所だより

---

第 3 2 5 号  
2 0 1 2 年 1 1 月 1 日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 8 2 - 3 0 1 6

## < 情報教育の必要性 >

かつては、分からないことがあれば辞書や参考書を利用していました。最近は分からないことがあればパソコン、もしくは携帯電話からインターネットにつなが、検索すれば情報はすぐに手に入ります。特に、スマートホンの普及に伴い、情報収集・発信の機会が増え、普段顔を合わせている友人同士にかかわらず、会ったこともない不特定多数の人と情報交流ができ、個人情報が発信できる時代です。

仲の良い友達と通じ合える、ネット上で知り合った人に支えてもらう、家族といつでも連絡が取れるなどの安全対策等、子どもたちは様々なメリットを享受しています。その反面、パソコン・携帯電話利用をめぐる問題も、様々な形で生じています。

先達ては、遠隔操作型とみられるウイルスに感染した男性 2 人のパソコンから犯罪予告メールが送られるなどした事件がありました。2 人のパソコンはいずれも、インターネット上のサイトから無料ダウンロードした直後にウイルス感染した疑いが強いことも判明。サイトは誰でも閲覧可能で、不特定多数を対象にウイルスをばらまいたものとされています。

1 3 日付の新聞には、大阪府の市立中学校の 2 年男子生徒 4 人が同級生の男子 2 人に互いに殴ったり蹴ったりするよう強要し、その様子をインターネット上の動画サイトに投稿したことが分かりました。また、奈良市では同級生を裸になるよう強要しその動画写真を撮って他の同級生に配信したとして逮捕された中 3 男子生徒。他人の ID やパスワードを盗み出したとして中 2 男子生徒を補導等々。この 1 ヶ月でも犯罪に関わる事件が多々報道されました。

このように、インターネットには利便性と弊害が兼ね備わっています。この利便性と弊害を子どもたちには指導していく必要があります。

子どもの携帯電話利用でまず心配しなければならないのが、「ケータイ依存症」です。携帯電話を持つようになると、子どもは友人とのメールのやりとりが気になり、すぐに返信しようとしていつも携帯電話を意識するようになりがちです。携帯電話がないと落ち着かなくなり、家族といっても携帯電話ばかり気にすることになってしまいます。また、ゲームやインターネットの依存症で夜遅くまで熱中し、朝起きられず昼夜逆転の生活となり、学校も行かず家から出られない子ども達も増えてきました。不登校の一因ともなっています。

更に、子どもが犯罪等の被害にあったり加害者になったりすることです。架空・不当請求は次々と新しい手口で子どもたちを狙いますし、子どもたちを誘い出して淫行や暴行をしようとする者もいます。いわゆる出会い系サイトといわれるものです。また、匿名で書き込みができる電子掲示板やチャットなどでは、特定の人物の実名を上げ、その人物に対する批判や暴露、誹謗・中傷などが頻繁に行われています。その中には、虚偽や事実の歪曲に基づくものが多いのです。特定の人物やグループ等に対する差別的な発言など、人権を脅かす行為も少なくありません。

今日の情報社会の中で、正しい情報の収集や発信等、情報モラル教育を推進し、携帯電話やパソコンを楽しく利用するための上手な付き合い方を身につけることが

必要です。

これらに関する資料や教材、指導案や出前授業等も含め補導センター・田村先生に一報くだされば手配を致します。

## < 教育研究集会の方向性 >

### 部会編成

- ・従来の部会を基本とする。部会成立は 5 名以上とするが、教職員の減少も踏まえて、技能教科（音楽・家庭・体育・図工）は 3 名以上でも可とする。
- ・小中連携を軸とした教科部会の研修を積み重ねていく。その事を踏まえ、数学部会と算数部会を統合する。
- ・教職員の自主性・主体性を尊重することを基本とするが、1 校で偏りが無いよう呼びかける。

### 各教研

- ・従来通り、組織教研、一日教研、半日教研、総括教研とする。

教研推進委員会での方向性を先達ての校長会に提起してきました。その中で、意見交換として出されたことは

- ①部会は成立しても、少人数または管理職のみ、さらに家庭科のように上学年の担当教科の中で部員に該当者がいない場合、というような部会の成立もあり得る。その時に授業研究を行なうことができるかどうか疑問である。  
\* その可能性は否定できないが、原則として半日教研は授業研究を主とする。

- ②各教研以外に部会単独で研修会を持つことがある。その研修会の日時が重なり複数の職員が抜け、学校運営に支障を来す場合も生じる。また、ある学校では、各教研以外に出張できる回数を 2 回と決めている。  
\* 各部長には前もっての研究所への連絡、また、重なった場合は日時の変更をお願いしてきた。研修会の回数については教研推進委員会で検討する。  
\* 市教研は先生方の自主的・主体的な研究を積み重ねその検証の場であり、悉皆研修として位置づけている。4 月当初に各教研の月日を提起しているので学校行事等は避けて欲しい。

- ③同じ部会に 1 校で複数名の先生方が参加することについて割り振りの検討はできないか。  
\* 市教研の自主性・主体性を尊重する趣旨からすればやむを得ない。ただ、管理職にアドバイスをしていただくことはできる。

これらに関して、1 2 月の推進委員会の議題として提起していきたいと思えます。

## < 注意 >

1 1 月 7 日（水）の半日教研の案内が各部会より回っていますが、旅費負担が主催者負担となっています。教研集会の半日教研と総括教研の旅費は学校配当旅費でお願いします。学校長、事務職の先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、宜しくお願い致します。